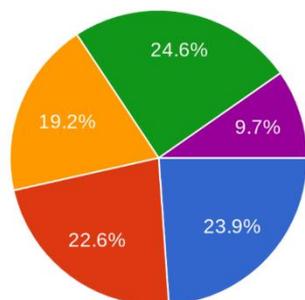


令和5年度 教育課程研修会アンケート結果

2 学校での分掌をお答えください。

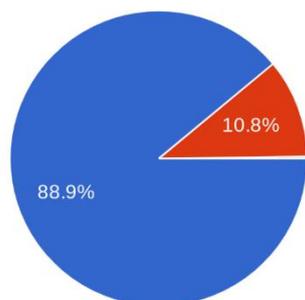
452 件の回答



- (1) 特別活動主任
- (2) 生徒指導主事・主任
- (3) 教育相談主任
- (4) 養護教諭
- (5) その他

3 視聴動画の時間はいかがでしたか。

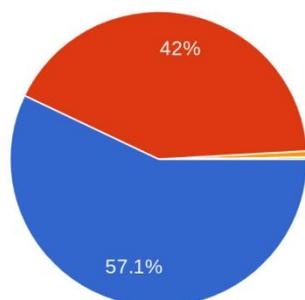
452 件の回答



- (1) ちょうどいい
- (2) 長い
- (3) 短い

4 動画を視聴することで、今後、「SOSの出し...受け止め方」を実践する上で参考になりましたか。

452 件の回答



- (1) とても参考になった
- (2) 参考になった
- (3) あまり参考にならなかった
- (4) 参考にならなかった

【感想等】

・SOSの受け取り方、生徒児童を前にどのように応じると彼らの心に、寄り添うことができるのか、具体的な声かけを示していただき、大変参考になりました。

・小山田先生の経験に基づく貴重なお話を伺うことができ、自傷行為がある児童生徒への関わりについて細かなことを確認し、振り返ることができました。養護教諭としての関わりと周りの先生方との関わりを繋ぎ、チームで対応していきたいと思います。児童に寄り添い、児童が安心できる保健室経営と安心して相談できる養護教諭でありたいと思います。

・不登校対策や教育支援等の講義でも聞いたことがある内容も多かったのですが、子供の命を最優先として考え、児童に近い立場だからこそ気づけることや相談に乗り対応していくことが必要だと感じました。そのためのスキルを常に学ぶことや、未然防止のための学級づくり個人との関わりが大切なことも再度確認しました。生徒指導主任として、児童の実態把握や未然防止のための学級づくり、さらには、SOSの出し方教育の推進をしていけるよう、全職員に周知していきたいと考えます。

・具体的な声のかけ方など、すぐに実践できそうな内容もあり、とても勉強になりました。

・大変貴重な機会をありがとうございました。自傷行為に限らず、日頃から気になる児童と関わる場面を思い返すと、実践している部分と不足していた部分が明白になりました。焦らずじっくりと話を聞きながら、関係する大人に広く繋げていきたいと考えます。

・SOSの受け止め方、教員としての対応の仕方など、大変勉強になりました。時間に余裕のある夏休みに視聴できたこともありがたかったです。ありがとうございました。

・自傷行為をなぜしてしまうのか背景にあるものと思われるもの、その背景からどのような対応が必要なのかについて改めて確認することが出来ました。校内で連携しながら丁寧な対応ができるようにしていきたいと思います。養護教諭として相談を受けることが多く、良い聴き手のポイントがとても勉強になりました。

・若い先生方にも、ぜひ視聴していただきたい内容でした。

・「告白は、回復のはじまり」という言葉が一番心に残りました。自傷してしまった子どもに対して、「親にもらった体だから……」「そんなことをしても意味が無い」等の声かけは、ともすればしてしまうなど危機感を抱きながら拝聴しました。子どもの置かれている状況を思いやり、常に傾聴の心を忘れずに対応していこうと思います。

・現場において、自傷行為の理解は不可欠であり、まだまだ理解が不十分でもあると思います。自傷行為の背景にある子どもたちの生きづらさを、教師が深く理解しようとまず思わないといけないと思います。『このような重大事案が身近にあるかもしれない』という視点で、子どもたちと日々関わっていく必要があると思います。また、SNSでの人間関係が広がる環境にあり、子どもたちの『SOS』も見えづらくなっている現状があります。これを踏まえた上で、これからの教育には、今まで以上に深い児童生徒理解が求められると思いました。今回はこのような学びの機会をいただき、ありがとうございました。校内にも広く周知したいと思います。